

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.686

2025年8月28日

東海旅客鉄道労働組合
<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

「基本協約」改訂 第5回団体交渉

福利厚生制度の拡充について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

8月28日、「基本協約」改訂に向けた第5回団体交渉を開催し、会社と議論を展開した。

今回の団体交渉では、福利厚生制度の一層の拡充について議論した。住宅施策については、持家住宅補給金や一般住宅補給金の増額、承認住宅の要件緩和、社宅・寮の柔軟な運用、健康管理については、熱中症対策やメンタルヘルス不調を防ぐための取組み強化、被服については、柔軟な着用、貸与枚数、機能改善、その他福利厚生については、育児・治療に関する補助金の拡充等を求めた。

また、名古屋セントラル病院におけるペイシェントハラスメントへの具体的な対策として、入院時の説明動画に「JR東海グループカスタマーハラスメントに対する基本方針」の内容を反映するとともに、入院申込書に患者が迷惑行為をしない旨の誓約事項を記載する運用を開始することを確認した。

JR東海ユニオンは引き続き、職場の実態をしっかりと伝え、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けた粘り強い交渉を展開していく。

【主な議論内容】※項目番号は、申入れNo.とリンクしています（部分は、現時点で前進を確認した事項）

VI. 充実した人生を支える福利厚生制度の一層の充実

- 業務領域の拡大に応じた住宅をはじめとする福利厚生施策の実施
 - ✓都市部における住宅補給金の改善 ✓承認住宅の配備、社宅・寮の柔軟な対応
 - ✓社宅、寮の諸課題改善
- 健康管理およびメンタルヘルスケアなど充実強化
 - ✓安全衛生活動 ✓熱中症対策および予防 ✓各種ハラスメント対応
 - ✓インフルエンザ予防対策 ✓人間ドックの充実
 - ✓SAS検査受診箇所拡大 ✓宿泊施設の環境整備
 - ✓健康管理を重視した各種取組みの推進
 - ✓組合員家族へ感謝を伝える取組みの推進
- 円滑な業務執行を可能とする、時代に沿った被服等の実現
 - ✓制服着用の柔軟な対応 ✓制服貸与枚数の拡充
- その他
 - ✓社員用購入券・社員用スマートEXの制限撤廃及び使用範囲拡大
 - ✓各種利用補助の改善など

甲府地区において新しい借上げ社宅への転居を進めていることを確認!

ペイシェントハラスメントに対する具体的な対策を講じることを確認!

インフルエンザ予防接種会場として、再び米原地区が選択可能となることを確認!

駅係員・乗務員を対象に動きやすさ向上等を目的として、ビジネスタイプのスニーカーが使用可能になったことを確認!

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。